

香蘭社銀座ビル

Koransha Ginza Building

No. 01-003-2010作成

新築
事務所／物販

発注者	株式会社 香蘭社	カテゴリー				
設計・監理	青木あすなる建設株式会社一級建築士事務所	A. 環境配慮デザイン	B. 省エネ・省CO ₂ 技術	C. 各種制度活用	D. 評価技術／FB	
施工	青木あすなる建設株式会社 東京建築本店	E. リニューアル	F. 長寿命化	G. 建物基本性能確保	H. 生産・施工との連携	
		I. 周辺・地域への配慮	J. 生物多様性	K. その他		

事業者の文化性を生かし、地域と協業して作る銀座のサステナブル建築

地域との協業でつくる建築・・・銀座の街のルールと銀座デザイン協議会

敷地は、銀座のみゆき通りに面する、華やかな繁華街。地下鉄東銀座駅から徒歩1分と交通の便も良い。事業内容は、B1～3Fがクライアント店舗及びオフィス、4F～10Fが賃貸オフィス。

銀座A地区街並み誘導型地区計画が制定されており、道路からの壁面後退と1Fへの店舗設置を条件に認定を取得し、斜線制限の緩和を受けた。そのため、街並みを形成する外観がセットバックで不自然に切り取られること無く、端正なファサードを形成することができた。また、偏心率や剛性率など構造面のバランスもよくなり、長寿命や省資源に寄与していると考えている。

外観については、街づくり組織「銀座デザイン協議会」と協議を行い、歩道レベルは旧建築のイメージを踏襲したデザインとして街並みとの調和を図った。



旧銀座店舗 歩道レベルファサード



有田本社ファサード



新銀座店舗 北側道路路面ファサード

事業者の文化性（地域、伝統、工芸）を建物に表現し、銀座の多様性を補完

クライアントは、有田を発祥の地とする老舗の高級陶磁器メーカーで、銀座にも店を構えて長年事業を行ってきた。みゆき通りの交差点に面し、街並みのコンテクストを形成する重要な要素となっていた。

建替にあたってクライアントから以下の要望があった。

1. 九州 有田の本社のイメージを当地に表現したい
2. 窯業の煙突や窯を表現したい

香蘭社の伝統・工芸的事業の文化性と、九州 有田の地域性を、銀座の多様なコンテクストに融合させることが、外観デザインのテーマとなった。

煙突や窯をイメージさせる柔らかな曲線壁を交差点に面したコーナーに配置し、その両側に垂直性のある壁を対照的にリズムカルに配置して銀座の端正な町並みと調和させた。通りからのアイストップとなることを意識してシンボル性をもたせている。有田本社の建築で利用されている色を採り出し、外観イメージを踏襲すると共に、旧銀座店舗の石素材を利用して古くからの街並みを継承した。

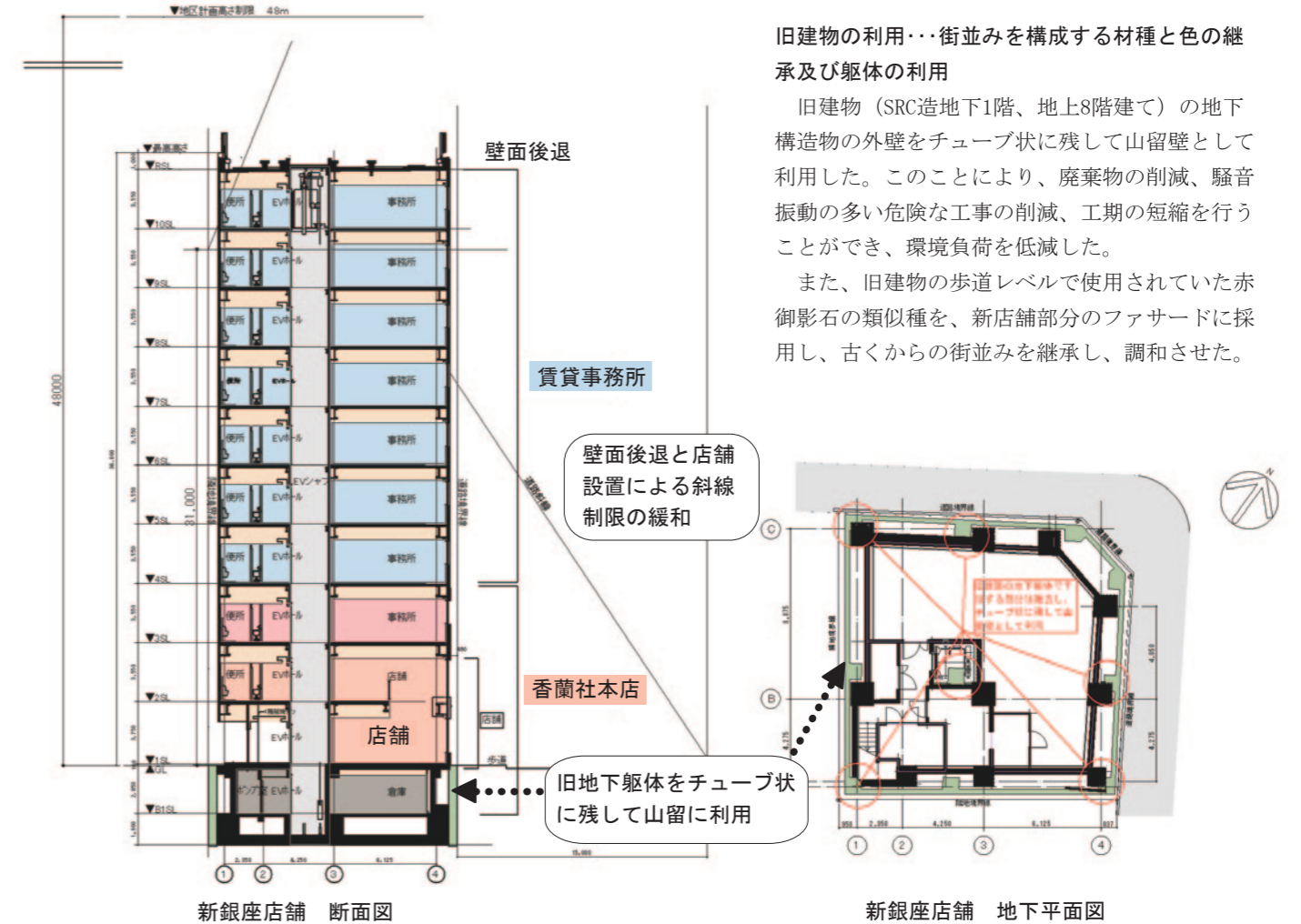
歩道レベルでは通りに対して大きなショーウィンドウを設けて陶磁器を並べ、また、壁面に有田焼磁器陶板を設置し、街行く人が工芸品を鑑賞できるようにして、アメニティを高めた。



高級陶磁器の展示 踏襲される外壁質感



道行く人を楽しませる 美しい磁器陶板



旧建物の利用・・・街並みを構成する材種と色の継承及び躯体の利用

旧建物（SRC造地下1階、地上8階建て）の地下構造物の外壁をチューブ状に残して山留壁として利用した。このことにより、廃棄物の削減、騒音振動の多い危険な工事の削減、工期の短縮を行うことができ、環境負荷を低減した。

また、旧建物の歩道レベルで使用されていた赤御影石の類似種を、新店舗部分のファサードに採用し、古くからの街並みを継承し、調和させた。

温熱環境への配慮

隣地側（南西面、南東面）は、壁として断熱性能を高めた。日射負荷の少ない北側道路に面する外壁の窓には複層ガラスを採用した。壁中心のデザインで窓が少なく、断熱的にも日射的にも有利な内容となり、Q値、v地とも良好な結果が得られた。

屋上の一部には、ヒートアイランド対策効果・断熱効果のある保水性舗装材を設置している。



屋上の保水性舗装材

メンテナンス・長寿命化

外壁には、石、タイル、ガラス、アルミニウム、ステンレスなど長寿でメンテナンス性の良い材料を使用した。

電気・設備のサステナビリティ

事務室の換気には全熱交換器を採用して熱エネルギーの無駄を極力なくすと共に、高効率型の空調機、HP型の照明器具を採用して省エネに配慮した。また、空調機及び照明は入退館システムとの連動で無駄を抑制するように配慮し、共用玄関はタイマー制御も行えるようにしている。トイレは自動洗浄装置、自動水栓を採用し、節水を行った。

設計担当者

建築：森竹敏朗／構造：滝口純一、井出左百合／電気設備：岡野準、末木隆一
店舗内装：安藤蓮子（デザインムジカ）

主要な採用技術（CASBEE準拠）

- Q2. 2. 耐用性・信頼性（長寿命な外装材）
- Q3. 3. 地域性・アメニティへの配慮（協議型、地域性、素材の選定）
- LR1. 1. 建物の熱負荷抑制（複層ガラス・断熱材）
- LR1. 3. 設備システムの高効率化（高効率空調機・入退館管理システムとの設備連動）
- LR2. 1. 水資源保護（トイレにおける節水型器具）
- LR2. 2. 非再生資源の使用量削減（グリーン調達、エコマーク商品）

建物データ

所在地	東京都中央区
竣工年	2010年
敷地面積	215㎡
延床面積	1,748㎡
構造	S造
階数	地下1階、地上10階